

# MechaCool<sup>®</sup> Solution



## 導入実例 Vol.1

メカクール「高機能保冷剤・保冷箱」

正規代理店

営業担当 持塚 E-mail : [a.mochizuka@nisseigrp.co.jp](mailto:a.mochizuka@nisseigrp.co.jp)  
TEL:080-5676-8722

向井 E-mail : [a.mukai@nisseigrp.co.jp](mailto:a.mukai@nisseigrp.co.jp)  
TEL:080-9370-4313

東京都港区港南3-5-16港南廣瀬ビル5階  
TEL : 03-3471-1191 FAX : 03-3471-1635

# BEFORE

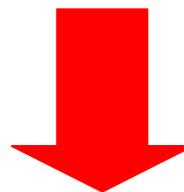
## 老舗食材卸A社様

**改善前:** 配送センター⇒外食店店舗間配送で、保冷車(1.5tサイズ)を使用。



### 改善前の問題点

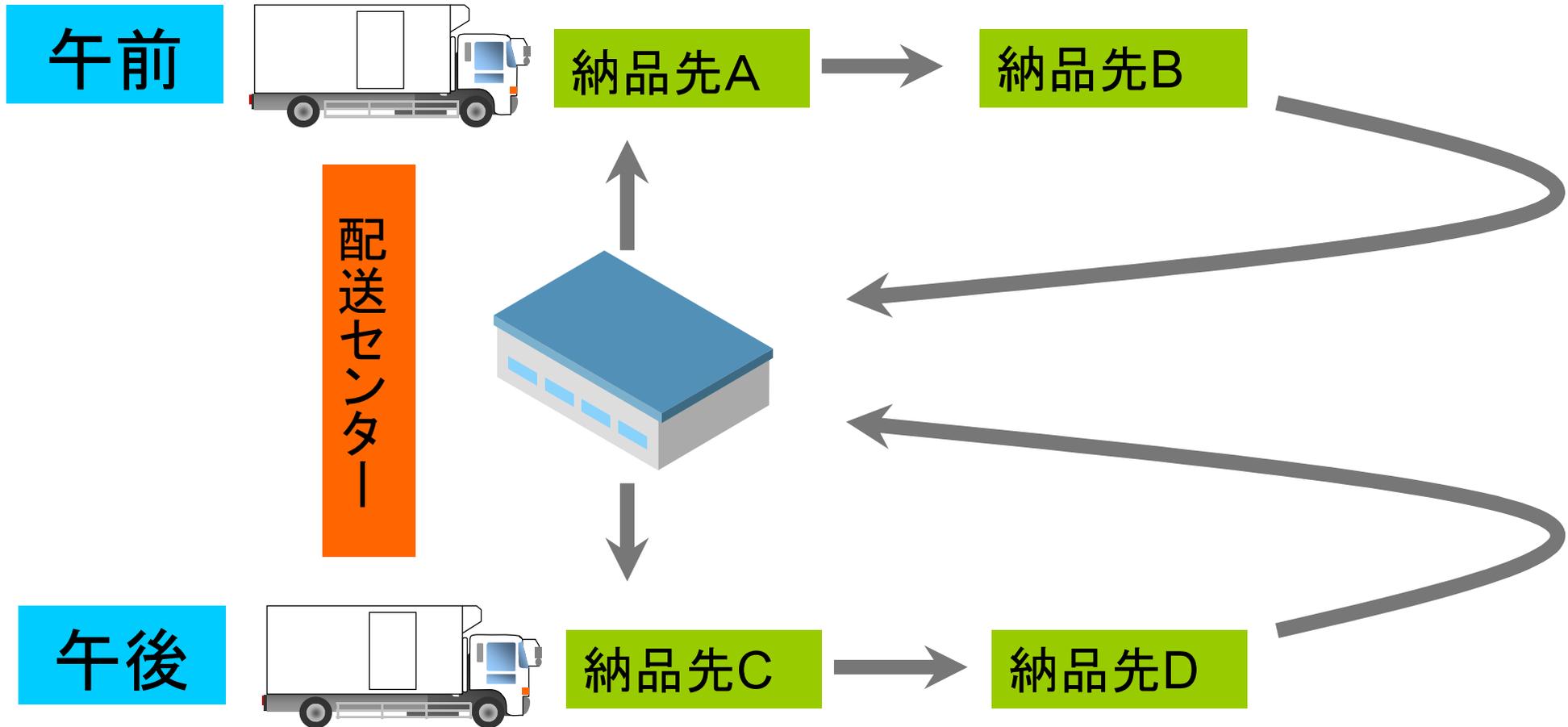
- ・荷室ドアの開閉時に庫内温度が上昇しヒートショックを起こす可能性があった。
- ・品質維持の観点から午後の配送分は一旦センターに戻り再度積込みを行っていた。
- ・高価な車両維持費
  - ・冷凍車のリース代
  - ・燃料費



品質維持が困難・高価な車両維持費

# BEFORE

・改善前は午前・午後の配送を分割して配送を行っていた。



World Wide Transport

NISSEI CORPORATION

# AFTER

## 老舗食材卸A社様

改善後：配送センター⇒外食店店舗間ハイエース(クーリングバン)を使用



・車載用大型保冷箱+メカクール  
(-18°C/2kgタイプ)を使用することにより  
最大14時間の保冷が可能になった。

### 改善後の効果

- ・保冷箱を利用することで荷室開閉時のヒートショックが回避され一層の品質向上を実現した。
- ・午後配送分も一度に積載が可能となり、配送センターに戻る必要が無くなった。→効率的な配送を実現。
- ・車両維持費の低減を実現。



品質の向上・配送の効率化・車両コストの低減を実現。  
荷室の有効活用により2温度帯配送も可能になった。

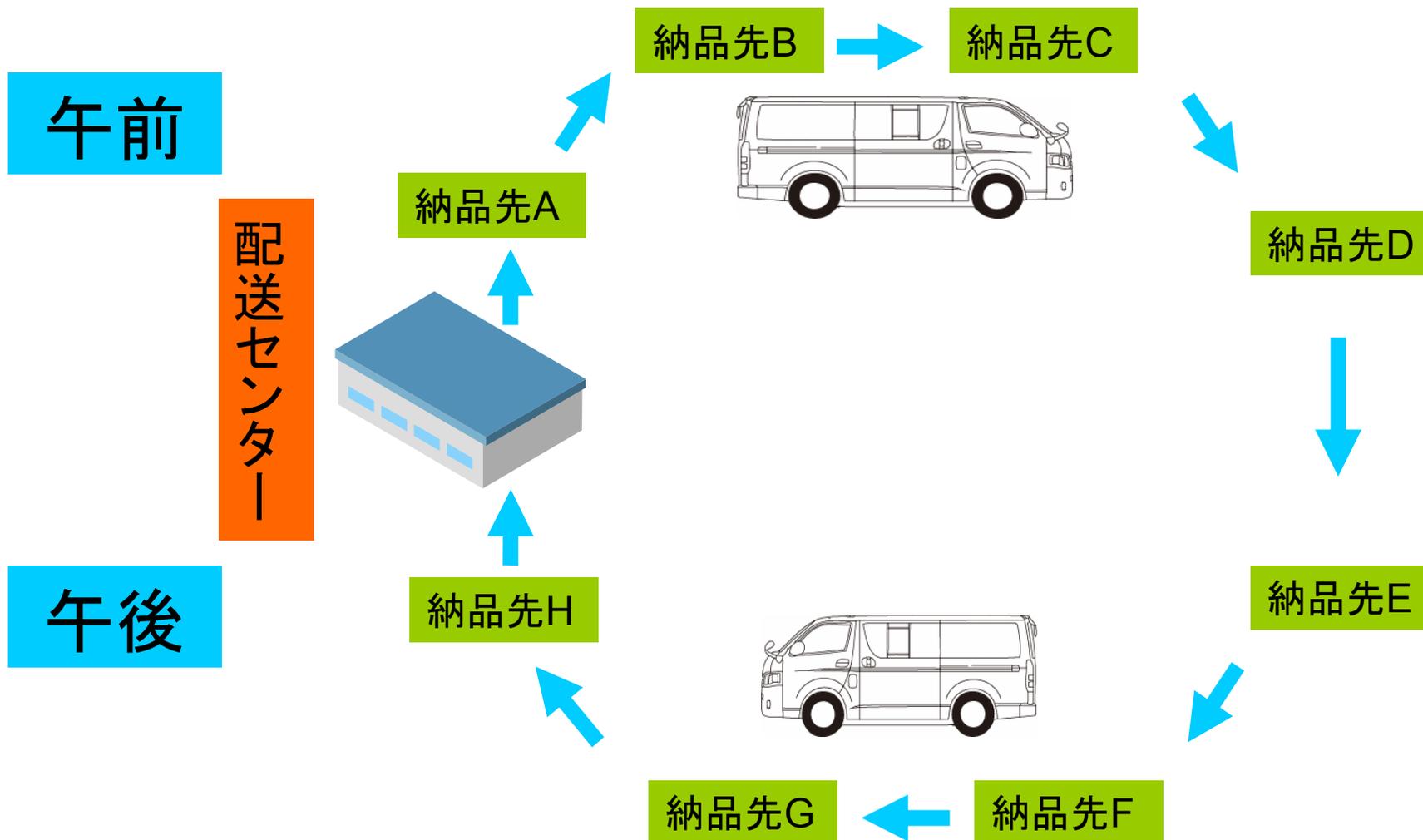


World Wide Transport

NISSEI CORPORATION

# AFTER

・改善後は、より多くの納品先へ一括して商品の配送が可能になった。



# AFTER

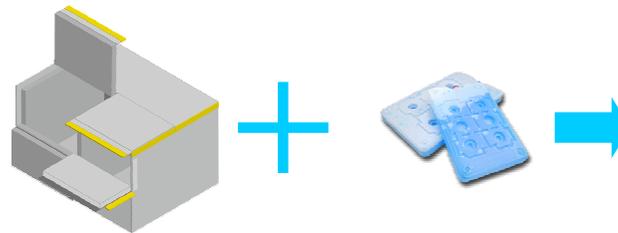
## オペレーション

作業工程は下記の通り①～⑩まで。

小口の商品を車載用保冷箱に格納していく。

### 新しい保冷輸送

車載用大型保冷箱+メカクール(-18°C/2kgタイプ)



- ・クーリングバン
- ・車両リース代削減
- ・燃料費削減

①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨



⑩



各納品先へ



World Wide Transport

NISSEI CORPORATION

# トータルコストの比較

## 冷凍車

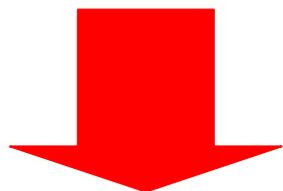


燃費: 4km/ℓ  
最大積載: 1.35~1.5tクラス  
リース代(5年契約): ¥60,000-/月  
タンク容量: 70ℓ  
燃料: 軽油(113円/2015年1月)

## クーリングバン+メカクール



燃費: 6km/ℓ  
最大積載: 1.25tクラス  
リース代(5年契約): ¥53,000  
タンク容量: 70ℓ  
燃料: 軽油(113円/2015年1月)



※条件: 月に20営業日毎日100km走行したとして。  
※当社調べ



### 年間コスト

燃料費: ¥678,000-  
リース代: ¥720,000-  
合計金額 = **¥1,398,000-**/1台あたり

1台あたりの年間コスト差

年間約 **¥310,000-**

### 年間コスト

燃料費: ¥452,000-  
リース代: ¥636,000-  
合計金額 = **¥1,088,000-**/1台あたり